

2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(23)番 福山市立城西中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	コミュニケーション力	表現力	忍耐力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	生徒は「伝え合う」場で自ら活動している。	生徒は「考えを書く」「話し合う」場で自ら活動している。	・生徒は、課題解決へ向けての学習活動を意欲的に行っている。 ・生徒は学校・地域・社会のボランティア活動に進んで参加している。

2 授業の現状

- ・基礎的な学習の定着が不十分な領域があり、定着へ向けた学習を必要とする。
- ・自ら学ぶ、探求的な学習内容や課題解決型の学習を必要とする。
- ・家庭学習の定着・学習意欲について、個の課題に応じた学習支援を必要とする。

転換

3 めざす授業の姿

- ・共通の課題が設定され、生徒は解決へ向けての学習活動を意欲的に行っている。
- ・「考えを書く」「伝え合う」「話し合う」場が設定され、生徒は自ら活動している。
- ・個の課題に合わせた支援が適切に行われ、生徒はわかる喜びを味わっている。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<p>○「主体的な学び」への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲、知的好奇心を喚起させる課題設定の工夫と単元指導案作成 ・調べ学習等、情報収集・処理・発信活動の取り入れ ・個の実態に応じた学び方の指導 ・委員会・学習係会による自治的な取組の場の設定 <p>○育成する力への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動としての生徒作品の掲示 ・「述べる」「伝える」「説明する」場の効果的な取り入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査では、国語・数学で基礎的・基本的な知識や技能の定着に課題ある。また、説明する問題での無答率が高く、授業で思考や表現させる際に、目的やそのやり方を教える必要がある。 ・課題解決型の授業づくりについて、教科会で話す場を設定できた。 ・言語活動や単元末のまとめとしての生徒作品の掲示は、できた教科とできなかった教科で差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教科において、表現する場を充実させる。その際、単元末のレポートの作成や、導入での課題設定をさせるなど、やり方は教材や教科の特性などで考慮する。 ・教える場、考えさせる場、表現させる場を明確にした授業づくりを行う。 ・主体的な学びへの取組として、委員会や学習係会を活性化させる。 			

5 取組の結果等

数値は2019年(R元年)調査等の状況(広島県体力・運動能力調査は昨年度)

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
国語	73 (-1)	自分にはよいところがある 41.3
数学	55 (-5)	先生はよいところを認めてくれる 39.1
英語	56 (0)	将来の夢や目標を持っている 58.7
		人の役に立つ人間になりたい 71.7

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(児童生徒質問紙調査)(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい	77.7
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	70.9
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	69.6
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	79.7

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(8)月末現在
暴力行為	0
不登校	4.0%

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 10/24	【前回目標値】 県平均以上の項目を男女共に50%以上にする		
(女子) 11/24	【結果】 男子:42% 女子:46%		
目標値	県平均以上の項目を男女共に50%以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	84.7	15.3
仕事に充実感がある	75	25

児童生徒アンケート(%) (7)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	82	18
自分の考えは、認められている	77	23